

岐阜県レッドデータブック 2010 の知事あいさつ

発刊にあたって

岐阜県は海拔ゼロメートルの水郷地帯から標高三千メートルを超える山岳地帯まで、変化に富んだ地形と豊かな自然環境に恵まれ、この豊かな自然環境の中に多くの生き物が生息しています

私たちはこうした自然の大きな恵みを受けて、暮らしや文化を発展させてきましたが、近年の人間による社会活動はこの豊かな自然環境に様々な負荷をもたらしてきており、野生動植物の生息・生育環境への影響が懸念されています。

こうした中、本県のかげがえのない貴重な財産であり、豊かな自然そのものである多様な野生動植物を後世に引き継いでいくため、平成8年から絶滅のおそれのある野生動植物の生息状況や分布状況を調査し、平成13年に「岐阜県レッドデータブック」として発行しました。

この初版のレッドデータブック発行の後、特に近年は地球温暖化の進行とともに自然環境の急激な変化やこれに伴う動植物への影響が指摘されるようになってきました。

そこで、県では平成18年度に岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会を設置し、多くの委員の方々の協力のもと、最新の実態を反映したものとなるよう、まず動物に関して現地調査を行うなどの改訂に向けた作業を進めてきました。

この調査を元に、平成20年度にはレッドリストの動物編を改訂し、そしてこのたび「岐阜県レッドデータブック（動物編）改訂版」としてとりまとめました。

既刊の植物編とともにこのレッドデータブック（動物編）改訂版が、県民の皆さんに野生生物の保全をはじめとする生物多様性の確保のための取り組みに広く活用され、本県の豊かな自然が将来に引き継がれていくことを期待します。

最後になりましたが、レッドデータブックの改訂作業にあたって多大なご尽力をいただきました検討委員会の皆様をはじめ、現地調査などにご協力いただいた関係者の方々に対し、心から謝意を表します。

平成22年 8月

岐阜県知事 古田 肇